

| 科目名 | 開講時期 | 必修・選択 | 科目区分 | 単位（時間） | 科目責任者 |
|---|---|-------|------|---------------|--------|
| 公衆衛生看護学方法論Ⅳ (健康教育とグループ・地区組織活動) | 3年次 後期 | 必修 | 講義 | 1単位 (30時間) | 佐藤美恵子※ |
| 授 業 概 要 | | | | | |
| 個・家族、集団、地域に対して行う健康教育の基本的な考え方と展開方法、教育技法について学ぶ。 地域の健康課題を主体的・組織的に解決するためのグループ・地区組織活動の育成・支援について学ぶ。 | | | | | |
| 到 達 目 標 | | | | | |
| 1. 健康教育の目的、目標、対象、場、方法とその特性を説明する。 2. 健康教育の展開方法、用いる教育技法を説明する。 3. グループ・地区組織活動の意義、目的、主な種類と特徴を説明する。 4. グループ・地区組織活動の発展と支援方法を述べる。 5. ソーシャルキャピタルの活用・醸成を述べる。 | | | | | |
| 回 | 学 習 内 容 | | | | 担当教員 |
| 1～8 | 1. 健康教育 1) 健康教育の目的、目標 2) 健康教育の対象、種類、場、方法とその特性 3) 健康教育の展開方法 情報収集、アセスメント、計画立案、実施、評価、地区活動への反映 4) 健康教育で用いる教育技法 保健行動理論の活用、教育媒体、教育技法 | | | | 佐藤美恵子※ |
| 9～15 | 2. グループ・地区組織活動 1) グループとは、組織とは、活動の意義、支援目的 2) グループ・地区組織の種類と特徴 3) グループ・地区組織活動に用いる概念 4) ソーシャルキャピタルの活用と醸成 5) グループ・地区組織活動の発展過程 6) グループ・地区組織の育成と活動支援 3. 演習：グループ・地区組織の育成、支援の実際 | | | | 篠田 浩子※ |
| 学 習 方 法 | | | | | |
| 講義 演習 | | | | | |
| 評 価 方 法 | | | | | |
| 科目修了試験（健康教育55%、グループ支援45%） | | | | | |
| 先 修 科 目 | | | | | |
| なし | | | | | |
| 教 科 書、参 考 書 | | | | | |
| 〔教科書〕 公衆衛生看護学.jp 荒賀直子 インターメディカル | | | | | |